



山口地方検察庁 業務説明会開催のご案内

検察事務官の仕事、見てみませんか？

- ・ 検察事務官ってどんな仕事をしているの？
- ・ 法律に詳しくないと採用されない？
- ・ 検察庁って堅いイメージだけど、職場はどんな雰囲気なの？
- ・ 検察事務官から副検事になれるって本当？

そんな疑問にお答えします。皆さん、ぜひお越しください！

※検察庁の業務内容等の情報提供を目的として実施するもので、選考活動に影響を与えるものではありません。

日程：6月26日（月） ①午後2時
29日（木） ②午前9時30分 ③午後2時
30日（金） ④午前9時30分
(所要時間は、2時間30分を予定しています。)

場所：山口地方検察庁（山口市駅通り1丁目1番2号）

内容：業務説明、庁舎内見学、若手事務官との座談会
質疑応答（個別）

申込方法：メール

【アドレス】 ppo30-jinji2023.2rf@i.moj.go.jp

※予約期間は、5月24日（水）午前9時～6月21日（水）午後3時までです。後日、予約完了の通知をメールでお知らせします。メールによる予約ができない方は、電話で御連絡ください。キャンセルする場合は、必ず御連絡をお願いします。

◆メール入力事項◆

件名「山口地検業務説明会事前予約」

1. 氏名（よみがな）
2. 電話番号
3. 参加希望日（上記日程①～④のうち、第一希望日に「◎」、他の日程でも参加可能な場合は「○」、参加できない日は「×」と入力してください。

【例】 「①◎ ③○ ②④×」 など



※自家用車による来庁は御遠慮願います。マスク、アルコール消毒液を準備しておりますので、必要に応じてご利用ください。

TEL 083-922-1440
(平日 午前9時～午後5時まで)

山口地方検察庁
総務課人事係
担当：古泉、黒田

皆さんのお越しを
お待ちしております！



立会事務官として活躍中の若手職員に聞いてみました！



採用3年目

立会事務官とは・・・

検察官を補佐して、捜査や公判（裁判）業務を担当する検察事務官を「立会事務官」といいます。

窃盗、詐欺、殺人事件などの刑事事件のほか、交通事故や交通違反といった交通事故について、検察官が行う被疑者の取調べや被害者・目撃者などの事情聴取に同席して供述調書の作成などを行います。

また、警察等関係機関との連絡調整や、公判に必要な書類を作成するなど、検察官のパートナーとして事件捜査や裁判に関する様々な事務を行います。



採用4年目

<p>私は、就活中に検察庁の仕事について知ったとき、犯罪の当事者である被疑者にとって、取調べ等で関わった検察官や検察事務官との出会いがその人の更正につながる可能性を大いに秘めているのではないかと感じました。責任は重いですが、その可能性に魅力を感じ、志望しました。</p>	<p>検察庁を志望した動機は？</p>	<p>学生時代に裁判を傍聴した際、検察官が、被告人に適正な処罰を科すよう裁判官に意見を述べている姿を見て、正義の味方みたいでカッコいいと憧れを抱き、自分もこの仕事に関わりたいたいと思い、志望しました。また、キャリアアップの一つとして、内部試験を受けて副検事になれる選択肢があることにも魅力を感じました。</p>
<p>採用前は「検察庁の仕事＝捜査・公判」のイメージが強く、1年目に事務局部門に配属された私は、採用前に抱いていた「検察庁の仕事」とのギャップを感じました。しかし、今では各々の部門は点でなく線で繋がっており、事務局部門・検務部門の業務も検察庁を支える重要な仕事だと感じています。</p>	<p>採用前と採用後、検察庁のイメージに変化はありましたか？</p>	<p>ドラマ等の影響で、検察庁の仕事は、検察官と検察事務官がペアとなって捜査や公判に関する事務をしているイメージしかありませんでしたが、証拠品の管理、罰金の徴収、裁判結果や前科の管理など、様々な業務があることに驚きました。</p>
<p>他省庁への人事交流や副検事試験希望者に対するサポートなど、キャリアアップのための仕組みが整っているため、自分の目標に向かってキャリア形成をすることができ、仕事の意欲向上につながっています。</p>	<p>検察庁に入って良かったことは？</p>	<p>新聞やニュースで報道される事件に、捜査の最前線として関わることができることです。その分大きな責任が伴いますが、検察官と共に事件を処理した際にはやりがいを感じます。</p>
<p>大規模庁では、捜査・公判についてそれぞれ部署がありますが、山口地検では、部署が分かれていないため、一つの事件の捜査・公判すべてを担当します。そのため、一連の流れがつかみやすく、幅広く経験を積むことができます。</p>	<p>山口地検の魅力は何ですか？</p>	<p>山口地検には、本庁のほかにも5つの支部があります。支部は、本庁に比べて規模が小さいですが、担当以外の業務も幅広く経験することができますし、それぞれの地域に応じた勤務ができることに魅力を感じます。</p>
<p>就活中の皆さんの中には、進路に迷っている方もいるかもしれませんが、検察庁で働いている私も同じです。崇高な動機を持ち、迷いなく仕事をできたわけではありません。自分の中にある矛盾にぶつかり悩む日もありますが、私は、検察庁で働くことが、自分自身の成長に繋がっていると感じています。</p>	<p>皆さんへメッセージをお願いします！</p>	<p>法律の知識がないと検察事務官として働くのは難しいのではないかと不安に思われる方もいるかもしれませんが、そんなことはありません。研修が充実していますし、検察官を始め、先輩や上司の方が親切丁寧に教えてくださるので、全く心配りません。少しでも検察庁に興味がある方は、説明会に参加していただくと嬉しいです。</p>

●採用後の研修（国家公務員一般職試験（大卒程度）採用者の場合）



検察庁では、採用後の研修が充実しています。法律の知識がなくても、継続的に研修と実務を繰り返すことにより、検察事務官として必要な知識・技能を身につけることができます。現役の検察官や検察事務官等が講師となって講義をしてくれるので、より実務に即した研修となっています。

また、約30～40名の検察事務官が集まって研修を受けるので、同期との親睦を深めることもできます。

●仕事と家庭の両立ができる職場

ワークライフバランスの推進に力を入れており、仕事と家庭の両立ができる職場です。

有給休暇だけでなく、夏季休暇、ボランティア休暇、子育てや介護などによる特別休暇などがあり、女性職員だけでなく、男性職員も積極的に育児休暇を取得しています。

その他にも、

- ・毎週水曜日を定時退庁日とし、残業はしない
- ・早出・遅出出勤制度を利用して、働く時間の柔軟化を図る
- ・業務の応援などを積極的に行い、休暇が取りやすい雰囲気を作る

など、プライベートも充実させることのできる職場です。

●キャリアアップが多様

山口地検で採用されれば、基本的には山口県内の異動となりますが、キャリアアップの選択肢として、法務省や最高検察庁、広島高等検察庁への異動や他省庁への人事交流も可能で、様々な経験ができます。

また、副検事や検事になる道も開かれています。

●女性職員も活躍中

山口地検では、多くの女性職員が活躍しています。

特に20歳代、30歳代の職員47名のうち、25名が女性職員です。



●山口地検の採用状況

※R5年度の採用人数は未定です。

試験年度	H30	R1	R2	R3	R4
大卒程度	3	3	2	2	2
高卒者	2	3	1	1	0